



子供が主役の学校



～本物から学ぶ教育～

概要版

墨田区立 第三寺島小学校 校長 福井 みどり

「子供が主役」の学校づくりを目指す。キーワード「責任」「信頼」「誇り」
～全ての判断基準の第一は子供です。子供にとって良いと思うことは積極的に取り組みます。～

子供が主役の学校

子供一人一人の「生きる力」を育む質の高い授業を実現する。地域とともに子供を育てる学校を推進する。

行動目標

- ・いじめ〇、不登校〇

地域に開かれ・根ざした学校

地域と学校の信頼関係、保護者と地域の信頼関係を築き、それぞれに責任を果たしながら、地域に親しみをもち、人の関わり合いを大切にできる子を育てる。学校を中心に互いに信頼関係を構築することで、この三寺小地域で暮らすことへの誇りをもてるようにする。

東京都教育ビジョン 基本理念

東京都教育委員会

社会全体で子供の「知」「徳」「体」を育み、グローバル化の進展など変化の激しい時代における、自ら学び考え行動する力や社会の発展に主体的に貢献する力を培う。

※オリンピック・パラリンピック教育の継承（多様性を尊重する。）

墨田区教育施策大綱 目指す子供の将来像 平成28年 6月～

- (1) 将来、社会で活躍し、地域に貢献できる自立した人
 - ア 感性豊かでいろいろなことに興味・関心をもって学び、実践できる人
 - イ 自己肯定感を育みながら、まわりの人の立場や気持ちを思いやることができる人
 - ウ スポーツや遊びを通じて健やかな体を育むことができる人
- (2) 郷土に誇りをもち、異文化とも敬意をもって積極的に交流できる国際感覚のある人

本校の学校教育目標

- 〇じょうぶな体をつくる子 → 運動が好きな子 健康のため自己管理ができる子 自他の命を大切にする子
- 〇すすんで学ぶ子 → 分かる、できる、楽しい 外部や地域の講師と連携した体験的な授業 本物から学ぶ
- 〇おたがいを大切にできる子 → いじめ・暴力を許さない 規範意識の醸成と実践 思いやり勇気のある子
- 〇人のためにはたらける子 → 他の幸せを自分の幸せにできる子

教職員の基本姿勢 「子供が主役の学校」

- 〇保護者と共に、児童の成長を喜び合う。明るさ温かさを根底にしながら、指導すべき点は明確に伝わるよう、身に付くよう温かく寄り添って指導する。(体罰・暴言はあってはならない。)
- 〇子供の思いを受け止め、良いことと悪いこととを明確に教える。勇気づける指導を進める。
- 〇特別支援教育への理解を進め、一人一人の良さを伸ばし、考える・分かる・できる喜びのある授業・教育活動を追求し、日々研究・研修に努める。
- 〇保護者・地域と温かい関係を築き、共によりよい学習環境・居場所を創造する。
- 〇いじめを絶対に許さず、偏見や差別をなくす人権尊重教育の徹底に努める。(呼名・言葉遣い)
- 〇教師自身が児童の手本となる。率先垂範 凡事徹底 明るく温かく笑顔で。

○じょうぶな体をつくる子

①運動が好き

体育の授業の充実（年間計画の充実や専門家を招いての授業 教師の校内研修）
年間を通じた計画的な体力づくり
長なわ跳び等、チャレンジすることを楽しむ
「共遊び」の推進

②自己管理

生活指導での取組「**早寝・早起き・朝ご飯・運動**」
基本的な生活習慣の定着
ソーシャルスキルトレーニング（社会性）
ストレスマネジメント（気分のコントロール）
数値目標：朝は自分で起きている子、朝ご飯を毎日食べている子を80%以上にする。（i-check）

③健康・保健への意識

食育推進 学校給食との連携・食物の栽培や出前授業など体験的な学習 ⇒ **本物から学ぶ**
心と体、**命を大切に**する学習（発達の段階の応じたがん教育、認知症理解、性教育）

○おたがいを大切にできる子

①いじめ・暴力を許さない。規範意識の醸成と実践

いじめを生まない関係作り 言葉遣いは心遣い
アイチェックを活用した学級づくり
→意欲の向上・自己肯定感の向上を目指す
児童のサインを見逃さない
学校生活・社会の約束を守る。自分たちで課題に気付きルールを守る。「**三寺あいことば**」
数値目標：あいさつをする子を80%以上にする。（i-check）

②安心・安全の知識 安全指導日の指導の充実（安全プログラム）

「自分の身は自分で守る。自助」
SNS等のかかわり方・メディアリテラシーの学習 不審者対応、薬物乱用防止などの学習～セーフティ教室 交通安全教室 避難訓練（様々な想定場面での訓練）

③思いやり勇気のある子

自己肯定感を高める指導、支援。
どの子にも出番のある、主体性を引き出す
達成感のある行事

○人のためにはたらける子

①他の喜びを自分の喜びにできる子

当番活動・委員会活動「**みんなのためになる、学校が楽しくなる工夫**」
環境美化 清掃・後片付け（ゴミを拾う、靴をそろえる、傘立てをきれいにする等）
言われてやるのではなく、進んでやる「自主性」を校風にまでしていく。

②仲間と共に助け合える子

困っている友達に、優しく接することができる。
道徳教育・特別活動の充実
よりよく生きるための実践につなげる道徳
数値目標：友達を助ける、仲良くする項目を80%以上にする。（i-check）

<特別支援教育の充実>

ユニバーサルデザインの視点にたった環境作り
教室掲示、ICTの活用で子供の特質を考慮する
実態把握・相談体制づくり

<特別支援教室「まなび」拠点校>

・3校（三寺・八広・三吾）における特別支援教育の充実
・学級で生きる指導の充実

<幼保小中一貫教育の推進>

寺島中学校ブロックで11年間を見通した一貫した知・徳・体の育成
寺島中 第三吾孺小 第三寺島小 幼稚園・保育園

<併設幼稚園との年間を通じた互恵性のある教育活動>

○進んで学ぶ子

本物から学ぶ教育を実現する

① 分かる、出来る、楽しい授業の展開

・学校生活の中心は授業⇒楽しく、よく分かること
によって、基礎・基本が身に付き、学習意欲が高まり、課題解決能力も高まる。
・学び方を学ぶ⇒見方・考え方・調べ方・ノート指導等タブレットを文房具のように使い学習する力
・多様な見方・考え方を大切にする。
根拠をもって対話や話し合いを重ねる
⇒思考力判断力表現力を高める
・知的好奇心を高める働きかけ
⇒**本物との出会い**
ICTを活用（タブレットのフル活用）
・校内研究のテーマ
「一人一人を大切にする学び合う集団作り」
学習指導は、生活指導の基本である。子供たちが主体的に生き生きと活動する授業を進めていく。

数値目標：好きな教科や授業がある子を80%以上にする。（i-check）

② 外部や地域の講師と連携した体験的な授業（本物との出会い）

豊かな体験は、豊かな心を育み、子供たちに学ぶ意欲や追求する力を育てる。本校では**本物との出会い**を大切にし、体験的な授業の充実を行う。

数値目標：本物から学ぶ実践を年1回以上行う。

③ 環境教育の充実

「持続可能な社会のつくり手の育成」を目指し、SDGs・ESD・環境教育の充実を図る。
ビオトープの再生 校庭花壇の活用

開校94周年開園54周年新たな歴史を刻む

地域と共に子供をそだてる三寺小

併設の幼稚園と共に